



朝露の甘み
とじ込めて。



Vol.2 キャベツ

本県は全国有数の農業県。標高10メートルから1400メートルまで広がる耕地を生かし、多種多様な農畜産物が生産されている。農業に変革が求められている現在、主要な15品目に着目、代表産地のJAを訪ね、安定供給に向けた努力や産地振興の取り組みを毎月1回リポートする。次回は9月4日掲載。

JA 嫁恋村

吾妻郡嬬恋村大前 767-2 TEL.0279-80-6100



**手頃な価格で
安定供給**

J A 嫦恋村は8月2日を「嬬恋高原キヤベツの日」と定め、販売促進活動を行つてゐる。J A や J A 全農ぐんまの職員が県マスコット「ぐんまちゃん」と一緒に、テレビやラジオの番組で嬬恋高原キヤベツの魅力をPR。量販店での即売会も開き、関東周辺だけでなく、西日本への浸透も図つてきた。広く販路を得た現在でも、販促に力を入れる。

嬬恋の農家は作物をキヤベツに絞つたことで大規模化を進め、生産、流通のコストを削減。販路拡大や消費者にとっての手頃な価格も実現した。「シェアを高められれば、1玉128~198円ほどの価格で広く安定供給できる」。専務の丸山義明さんは販促の意

給食に無償で提供 スポーツ選手も支援



JA嬬恋村は毎年7~10月、村内の学校給食用に朝採りキャベツを無償で提供している=写真⑥。「村の子供たちに地元の特産品を食べてほしい」と10年以上前から続いている地産地消の取り組み。昨年は8玉入り段ボールで275箱ほどを納めた。

村の学校給食センターによる

と、サラダやあえ物、スープ、キヤベツカレーなど、何らかの形で
ほぼ毎日、メニューに登場する。センターは「柔らかいキヤベツなので、子供たちも食べやすそう」と、地元キヤベツの魅力をあらためて感じている様子だ。

スポーツ選手の支援もしていて、高崎健康福祉大出身のスピードスケート選手、阿部友香さんのスポンサーをJA全農とともに引き受けた。嬬恋村はスピードスケートが

り早く知らせて
る。9箱もある
兄回るのは不可
能。前3時から10時
の遠くな
りそうな作業
を、合理化さ
れた集出荷シ
ステムが援護
する。キャベツ
はトラクター
後部の荷台に
64箱載せ、最
寄りのJJAの
集荷場で写真
前に申告する一方で、各
市場はJJAに注文を伝
えている。予冷庫は両者
をすり合わせる役割を
担つていて、品が予定通
り届いたかを確認、注文
に沿つて振り分けて発送
する。トラックの発着は
毎日数百台。干俣予冷
庫では、責任者の特産課
係長、宮崎秀男さんが「ス
トーリー、スピーディーに作業を
監督していた。確実な納品
を高め、産地の未来につなが

品種改良重ね味わい追求

メーカーを視察して目ぼしい品種を選び、JJAの試験農場で栽培。ふさわしそうな品種は、さらに野菜研究会の生産者約100人が栽培。間違いなく栽培できると判断されれば、採用になる。

現在主力の「青琳」(せいりん)はこの品種改良で見いだされた品種。ボリュームがあつて味も形も良いことから2009年に採用、出荷量の25%を占めるほどになった。當農畜産課長、熊川武志さんは「温暖化が進み、病気も出る。10年サイクルで変えていく必要がある」と品種改良の大切さを説く。試験農場には今でも、52種が植えられている。

鮮度保つて おいしさ直送

朝露で輝いていた。嬬恋村干俣のキベツ烟。バラギ高原出荷組合副組合長の黒岩郎さん(55)一家が収穫作業を進めていた。キヤベツをつかみ上げるたび、朝露が水流になり、ほとばしる写真②。昼夜の寒暖差が品質を高めるといい、朝露はみ

サラダやとんかつの付け合わせでおなじみのキャベツは、回鍋肉（ホイコーロー）、ロールキャベツなどの食材としても活躍し、食卓に欠かせない野菜の一つ。本県はキャベツ的一大産地で、農林水産省の統計によると、昨年の出荷量は愛知県に次ぐ2位。その約9割が嬬恋村で生産されている。嬬恋村は市町村別で全国一の出荷量があり、標高700メートルから1400メートルの間に広がるおよそ3000ヘクタールの畑=写真①=で、高原の恵みを一身に受けたキャベツが甘く柔らかく育ち、宮城から沖縄までの各地に送られている。嬬恋ブランドの信頼を合理化された集出荷システムや継続的な品種改良が支えている。



A close-up photograph of a round wicker basket containing several sandwiches. One sandwich in the foreground is cut in half, revealing layers of shredded cabbage, meat, and cheese. Other sandwiches are visible in the background, some with green herbs on top. The basket sits on a white surface with a blue and white patterned cloth underneath.

企画：JA 群馬中央会

取材・制作：上毛新聞社 営業局